

平成29年度事業評価シート(中央公民館)

総事業数 (35) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(4) 3. 家庭教育(12) 4. 青少年(4) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(6) 6. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業					2. 学・社・民融合による人づくり、地域づくりに資する事業					3. 家庭の教育力の向上を支援する事業					4. 青少年の生きる力を育む事業								
事業数	6事業 少子化対応1, 学社民の融合1, 地域の絆2, 地域課題解決1, 人材育成1					4事業 体験活動1, 公民館型出前講座3					12事業 家庭教育学級8, その他家庭教育講座1, 親子の居場所1, 保育者交流研修2					4事業 地域活動1, 体験活動2, 居場所1								
ねらい	地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、協働体制を推進する。交流事業や地域課題に関する講座を実施することにより、顔の見える地域づくりと住民の地域課題への関心を促す。					学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域の連携体制を推進する。特に、公民館出前型事業を実施することにより、地域に開かれた学校づくりを進める。					家庭教育学級の実施や居場所の開設により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後等も学習の継続を支援し、子育ての不安や悩みの軽減を図る。					体験学習を通して、子どもたちの社会的成長を支援するとともに、地域住民やボランティアとの交流を図り、地域で子どもを見守り育てる体制づくりを推進する。								
成果	目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント						
	サークル結成数	—	—				サークル結成数	1	2				サークル結成数	4	4	「シングル子育てカフェ」でもサークル結成			サークル結成数	—	—			
	企画委員希望者数	/	—				企画委員希望者数	/	—				企画委員希望者数	/	30	幼児期・プレマ・父親・ひよこママらんど			企画委員希望者数	/	—			
	受講者の満足度(平均値)	80%	97%				受講者の満足度(平均値)	80%	91%				受講者の満足度(平均値)	80%	96%				受講者の満足度(平均値)	80%	100%	アンケート実施した2事業共、満足度は高かった。		
	受講者の気づき(平均値)	80%	80%				受講者の気づき(平均値)	80%	83%				受講者の気づき(平均値)	80%	76%				受講者の気づき(平均値)	80%	—			
その他成果(品)及びその活用等	/	/				その他成果(品)及びその活用等	/	/	昨年結成されたサークル会員が本年度講座のスタッフとして活動した。			その他成果(品)及びその活用等	/	/	乳児期家庭教育学級や父親学級での文集作成			その他成果(品)及びその活用等	/	/				
評点	評点	コメント				評点	コメント				評点	コメント				評点	コメント							
	必要性(平均値)	3.3	地域の実情を知り、地域の活性化に向けて必要性が高い事業である				必要性(平均値)	3.8	学校と地域の連携を推進するため、今後も取り組んでいく必要があると考える				必要性(平均値)	3.8	子育てに悩む保護者の仲間づくり、不安軽減につながっている				必要性(平均値)	4.0	子どもたちが、普段の生活ではあまり体験できないことを親子で楽しみながら体験することができた			
	有効性(平均値)	2.8	参加者が固定化しているため、さらに幅広い世代の参加への工夫が必要				有効性(平均値)	3.8	普段は学校と繋がりのない地域住民が学校を訪れる機会となっている				有効性(平均値)	3.4	全体的に満足度は高く、受講者同士のつながりも出来ている。				有効性(平均値)	3.8	体験活動や他校の児童・大人との交流を通して子どもたちの社会的成長を支援できている			
	効率性(平均値)	3.8	コミュニティ協議会や学校、ボランティアとの協力が図られ、効率的に役割分担ができた				効率性(平均値)	3.8	地域教育コーディネーターと連携し、効率的に事業を実施することができた				効率性(平均値)	3.8	保育にかかる経費や労力は必要不可欠なものであり、その他の部分ではボランティアや他機関と連携し、効率的に運営している				効率性(平均値)	4.0	企業やボランティア等の協力により、経費・労力面で効率的に実施できている			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分								
改善点	地域コミュニティ協議会との連携事業において、参加者が固定化されており、繰り返されている事業については、事業内容の見直しとともに新規参加者を呼び込むためにコミ協と一緒に検討していく。次年度も引き続きコミュニティ・コーディネーター育成講座を開催し、若い世代の参加者を含め増員に向けて検討する。					出前講座を実施していない学校に対し、様々な機会をとりえ働きかけを行い事業開催を推進していく。					家庭教育については全体的に受講者の満足度は非常に高い。次年度も引き続き、平日参加出来ない対象者が更に参加しやすいような講座開催を行う。さらに自主グループ結成の呼びかけやサークルへの参加を働きかけ、自主グループの支援をしていく。					子ども体験については、アンケート結果などからニーズを把握し、講座内容を検討していく必要がある。宿泊体験事業については、対象学校を拡大して募集を行ったことから、地域団体などとの連携も含めた運営体制を再検討していく。子どもの居場所などについて、ボランティア・職員の見守りなど運営体制の改善を図った。開催方法など更に検討していく必要がある。								
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E				
			5		1			3			1			12					4					
評価区分	<館長コメント> 地域の課題に取り組むことが大きな目的の公民館にとっては、不可欠な事業である。さらに、コミ協と連携を強め事業を進めていく必要がある。より多くの人が参加できるように工夫していく。					<館長コメント> 学社民に融合による人づくり、地域づくりは、公民館の大きな目的である。各学校で、出前講座を実施し、学校と地域のつながりを深めていく必要がある。各学校や地域のニーズを把握していく。					<館長コメント> 子育て支援は、新潟市の公民館の大きな事業であり、ニーズも大きい。また、ここで学んだ人が、公民館の利用者や活動協力員などにつながり、地域の中心的役割を果たすようになっていたりする。受講後のフォローにも力をいれたい。					<館長コメント> 子ども体験事業は、内容等を再検討し、誰でもが参加しやすい講座とする必要がある。青少年の居場所は、より多く来てもらえるように、周知の方法も検討していく。								
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止								

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業					6. 現代的課題を探り、解決する事業				
事業数	1事業 高齢者事業1					6事業 青年対象事業4, 地域の茶の間1, ボランティア養成1				
ねらい	シニア世代の市民を対象に、将来的な社会活動参加への支援及び退職後の生活を活動的に過ごすための学習機会を提供し、健康づくりや仲間づくりを図る。					地域の茶の間を開設し、地域住民の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。また、20代の若者の社会人としてのスキルアップや異業種間での交流を支援する。				
成果		目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント	
	サークル結成数	1	0			サークル結成数	1	0		
	企画委員希望者数		3			企画委員希望者数		13	ユースセミナー、クロスバ ルちよつと寄り道	
	受講者の満足度(平均値)	80%	80%	実際に農地での作付が体験でき満足度は高かった		受講者の満足度(平均値)	80%	96%	ユースセミナー、クロスバ ルちよつと寄り道	
	受講者の気づき(平均値)	80%	50%			受講者の気づき(平均値)	80%	78%	ユースセミナー	
	その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント				評点	コメント		
	必要性(平均値)	2.0	農作業と一緒にやることで、自然と会話をする場面ができ参加者同士の交流が図られた			必要性(平均値)	3.8	各世代の学習・仲間づくりの支援として必要な事業である		
	有効性(平均値)	2.0	受講後の学習成果の還元と活動場所として、農業サポーター制度への登録を促し、2名が登録をした。			有効性(平均値)	3.0	対象者のニーズの把握を行い、講座内容の充実を図る		
	効率性(平均値)	2.0	他事業でもお願いをしている、農家の協力により効率的に実施できた			効率性(平均値)	3.7	活動協力員やボランティアと連携し、事業を実施する事が出来た		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				
改善点	講座終了後も農業に関わってもらえるような内容としていたが、近隣に農地が少ないことやなどから実際の活動に結び付けることが困難であった。事業目的に応じた対象者ではない参加者が多く、本来の事業主旨とは大きく異なる結果となった。					青年対象事業への参加者へ、情報提供など切れ目ない声掛けを行い、公民館利用を促していく必要がある。地域の茶の間には、さらに参加者を呼び込めるよう、気軽に参加しやすい雰囲気づくりや事業実施を行う。				
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
				1			6			
	<館長コメント> 3か年実施し、自主グループ結成や農業サポーターへの登録など一定の成果を上げることができた。しかし、余裕のある高齢者の趣味的な事業となってしまったことから次年度は廃止とする。					<館長コメント> 次代を担う若者たちが学び交流し成長していく場になれるような事業を実施し、公民館利用を促す。また、サークル化を図っていく。自由空間(地域の茶の間)は参加を増やすように内容を改善する。				
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度 事業実施報告

中央公民館

重点化	No.	新規	評価	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	運 携				備考	
												学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)		
1. 地域のコミュニティづくり	1	◎	B	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域を再認識し地域課題につき、地域課題に取り組む人材を育成する	1	総合	4	午前	8	29						
	2		B	お寺でゴーン!	コミュニティ協議会と連携し地域全体で子どもの健全育成に取り組む、地域の活性化を図る	1	総合	2	午前・午後・夜間	15	15	日和山・白山・鶴瀬・新潟・相模	日和山小				
	3		B	ひよこファミリーらんどスタッフ研修会	地域の子育て支援を担う人材の育成	1	成人	3	午前	9	19				1	保育実施	
	4		B	湊校区コミュニティ学習会	湊校区コミュニティ協議会と連携し地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	3	午後	94	94						
	5		B	礎地域コミュニティ学習会	礎地域コミュニティ協議会と連携し地域住民の健康づくりと地域の絆づくりに取り組む事業を実施する	1	総合	2	午前	61	61						
	6	◎	D	茶の間の学校	地域の茶の間の意義や必要性を学び、実践活動へつながる機会とする	1	総合	6	午前・午後	26	135						実家の茶の間・地域包括ケア推進課
2. 学・社・民の融合	7		B	スクールコンサート(新潟・白山小学校)	子どもの体験活動。公民館・コミハ活動団体と子どもたちの交流	1	少年	5	午前・午後	237	237	新潟小・白山小	新潟小・白山小				
	8		B	地域みんなで防災力アップ(寄居中学校出前講座)	中学生と地域住民合同の防災講座を学校を会場として実施	1	総合	2	午後	87	170	寄居中	寄居中				礎コミ新潟コミ
	9		D	公民館出前型講座(寄居中学校)「美しい文字講座」	学校を会場とした地域住民向け公民館講座の実施	1	総合	3	午後	13	37	寄居中新潟小	寄居中新潟小				礎コミ新潟コミ
	10		B	公民館出前型講座(白新中学校)「美しい文字講座」	学校を会場とした地域住民向け公民館講座の実施	1	総合	3	午後	14	27	白新中	白新中				白新自治会
3. 家庭教育振興	11		B	乳児期家庭教育学級(第1期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	21	95						保育実施
	12		B	乳児期家庭教育学級(第4期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	20	87						保育実施
	13		B	幼児期家庭教育学級(木曜コース)	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	3	午前	11	23						保育実施
	14		B	幼児期家庭教育学級(土曜コース)	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	3	午前	18	49						保育実施
				幼児期家庭教育学級企画会議	企画会議	1	成人	1	午前	3	3						
	15	◎	B	乳幼児期家庭教育学級休日版「シングル子育てカフェ」	シングルマザーを対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	5	10						保育実施、母子福祉連合会
	16	◎	B	乳幼児期家庭教育学級休日版「パパと子どもの子育て遊び」	4～5歳児の父親を対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	1	午後	28	24						
	17	◎	B	乳幼児期家庭教育学級休日版「ママとパパの子育て講座」	子育て中の夫婦を対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	40	65						保育実施
	18		B	プレママ学級	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	午前	9	27	新潟小	新潟小				
	19		B	父親学級	父親の子育て参画を考える	1	成人	9	午前・午後・夜間	26	129						
	20		B	保育者研修会	保育者の資質向上、情報交換	1	成人	3	午前	259	214						アルザにいがた
	21		B	中央公民館保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	23	8						
22		B	ひよこファミリーらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	74	午前・午後	1,009	1,009				1	ボランティアスタッフと連携		
4. 青少年の健全育成	23		B	新潟柳都中学校しまちあるき講座	体験活動を通して地域活動やまちづくりに参画する青少年を育成する	1	少年	1	午前・午後	175	175	新潟柳都中					
	24		B	子ども体験教室(漆器・塗り箸・木工)	子どもたちに様々な体験学習などを通じて、健全育成を図る	1	少年	3	午前	85	75				1	新潟漆器同業組合	
	25		B	防災キャンプ! 公民館に泊まってあそぼうBOUSA!	災害を模擬想定し、子どもたちに避難所生活を体験することで、日頃からの備えと自ら考える力を養う。	1	少年	1	午前・午後・夜間	20	19	日和山・白山・鶴瀬・新潟	日和山・白山・鶴瀬・新潟				
	26		B	子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあう場を提供する	1	少年	51	午後	183	183						
5. 高齢者支援	27		D	セカンドライフ農業体験講座	高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを支援	1	高齢者	5	午前・午後	22	87				1	食育花育センター	
6. 現代的課題	28		B	ユースセミナー	20代を対象とした自己の考え方、仕事、人間関係等について考える講座	1	青年	5	夜間	10	36						新潟県水産課・魚食普及の会
				企画会議		1	青年	2	夜間	3	5						
	29	◎	B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ①「ゆかた着付け体験」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	1	夜間	16	14				1		
	30	◎	B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ②「家カフェ楽しみ方講座」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	1	夜間	19	19						
	31	◎	B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ③「MYお弁当講座」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	2	夜間	14	20						
	32		B	自由空間	地域の情報交換、交流の場	1	総合	24	午後	276	276				1	自由空間サポーターと連携	
33		B	ボランティア養成講座	自由空間サポーターの養成	1	総合	2	午後	16	17						生涯学習センターと共催	
7. その他	34		B	文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	午前・午後	1,762	1,762						使用団体連絡協議会と共催
	35		B	自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	10	午前・午後・夜間	53	53						
居場所を除く合計						35		106		3,222	3,840						
居場所合計						3		149		1,468	1,468						
公民館職員研修		B	公民館職員研修	公民館職員の資質向上のため	1	成人	5	午前・午後	205	205						県公連	
		B	公民館嘱託職員研修	公民館職員の資質向上のため	1	成人	1	午前・午後	44	43						県生涯学習推進センター	

平成30年度事業計画

居場所事業

中央公民館

基本施策	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		お寺でゴーン	コミュニティ協議会と連携し、地域全体で子どもの健全育成に取り組み、地域の活性化を図る	1	少年	1	
	2		コミュニティ学習会	基礎域コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	成人	2	
	3		コミュニティ学習会	湊校区コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	2	
	4		ひよこファミリーらんど学級	地域の子育て支援を担う人材の育成	1	総合	2	保育実施
	5		コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域課題の把握・解決する人材の発掘・育成	1	成人	4	
2. 学・社・民の融合	6		スクールコンサート(新潟小学校)	子どもの体験活動。公民館活動団体と子どもたちとの交流	1	少年	3	
			スクールコンサート(白山小学校)	子どもの体験活動。公民館活動団体と子どもたちとの交流	1	少年	2	
	7		公民館出前型講座(新潟柳都中学校)	学校を会場とした地域住民向け公民館講座の実施	1	少年	2	
	8		地域みんなで防災力UP(寄居中学校)	学校・コミ協と連携し、地域防災について考える	1	総合	1	
3. 家庭の教育力向上	9		乳児期家庭教育学級(第2期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	保育実施
	10		乳児期家庭教育学級(第3期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	保育実施
	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	4	保育実施
				企画会議	1	成人	2	
	12		乳幼児期家庭教育学級休日版	平日に事業へ参加出来ない保護者などを対象として、家庭教育について考える	1	成人	2	保育実施
	13		ブレママ学級	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	
				企画会議	1	成人	1	
	14		父親学級	父親の子育て参画を考える	1	成人	8	
	15		保育者研修会	保育者の資質向上、情報交換	1	成人	3	
	16		中央公民館保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	
17		ひよこファミリーらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	68	ボランティアスタッフと連携	
18	◎	子育て出前学習講座	新一年生の保護者等を対象に、就学時健康診断などにおいて、講演会を実施。	1	成人	122	H29までは生涯学習センター事業	
19	◎	おはよう朝ごはん講習会	料理講習会を通して、子どもたちの生活習慣づくりと地域住民が参加することによる地域の活気づくり	1	成人	1	H29までは生涯学習センター事業	
4. 青少年の生きる力	20		子ども体験教室①	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
			子ども体験教室②	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
			子ども体験教室③	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
	21		(仮)避難所宿泊体験事業	防災知識の向上と子どもの体験活動および学校の異なる子ども同士との交流	1	少年	1	
	22		子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、安心して過ごせる居場所を提供する。	1	少年	47	
6. 現代的課題	23		ユースセミナー	コミュニケーションやワークライフバランスについて学ぶ	1	青年	5	
				企画会議	1	青年	2	
	24		活動協力員協働事業(若者対象事業)	様々な体験や学習の機会を提供し、自ら学習するきっかけづくりとし、公民館利用を促す。	1	青年	3	
	25		みんなのふれあい広場	地域の情報交換、交流の場	1	総合	23	自由空間サポーターと連携
26		自由空間サポーター養成講座	自由空間サポーターの養成及び研修	1	総合	3		
7. その他	27		文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	使用団体連絡協議会と共催
	28		自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	4	
居場所を除く合計					31		266	
居場所合計					3		71	
公民館職員研修				公民館職員の資質向上のため	1	成人	6	

平成29年度事業評価シート(鳥屋野地区公民館)

総事業数(30) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(3) 6. 現代的課題(3) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	6事業 防災1、地域福祉1、少子化対策3、若者支援1				3事業 出前講座2、連携イベント1				5事業 家庭教育5				7事業 体験活動5、居場所2			
ねらい	地域活動者の学習・交流をとおして地域コミュニティの活性化に寄与する。 また、地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、地域課題への取り組みを支援する。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域の連携体制を推進する。				家庭教育の実施や居場所の設置により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後も学習継続を支援し、子育ての不安や悩み等を軽減する。				青少年の生きる力を育むため、青少年の体験活動や異年齢交流等を推進する。 小中高生を対象に学校や自宅以外の居場所を提供するとともに、グループ同士や地域の人との交流を図る			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	2	2	乳児期講座で2つ結成	サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数		7人	幼児期・思春期で計7人	企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	少子化対策の子育てサロン以外の事業で実施し、高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	出前講座で実施。高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	各事業とも高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	体験活動講座で実施し、高い満足度を得られた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	94%	少子化対策2事業以外で実施。	受講者の気づき(平均値)	80%		単発事業のため、アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	92%	各講座で目標値以上だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	90%	体験活動講座の4事業で実施
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			ゆりかご学級の文集の文集	その他成果(品)及びその活用等				
評価		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.8	地域にとって必要な事業となっている。		必要性(平均値)	3.3	学校からの要望もあり、必要度は高いが、成果は見えにくい。		必要性(平均値)	4.0	育児中の母親の仲間づくりや不安解消に必要である。		必要性(平均値)	3.9	子ども体験事業は好評なので、毎年度、有効性・効率性も考えながら実施していく必要がある。居場所事業のリースペースは、地域の小中学生の安らげる場所となっており、引き続き周知を図っていく必要がある。	
	有効性(平均値)	3.2	他機関や公民館利用団体との連携を図った。		有効性(平均値)	4.0	学校と連携し事業実施できた。また、インターンシップを活用することもできた。		有効性(平均値)	4.0	一部鳥屋野中学校と共催でき、参加者増を図れた。		有効性(平均値)	3.7	体験活動は、様々なジャンルの講座を実施しており、子ども達のニーズに対応している。	
	効率性(平均値)	4.0	企画会議の活用や他団体・他機関との連携により、効率的に運営できた。		効率性(平均値)	4.0	役割分担を事前に協議し、効率的に進めることができた。		効率性(平均値)	3.8	効率的に実施できた。		効率性(平均値)	4.0	長岡高専の出前講座を活用し、効率化を図った。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域の課題や要望などの情報を収集しながら、公民館として支援できるものを考えていく必要がある。				学校、地域教育コーディネーターと情報を密にしながら、効率的で有効な事業運営をしていく必要がある。				児童期・思春期学級の一部を、中学校の新1年生保護者説明会の前段で実施したことにより、参加者増を図ることができた。今後も、学校との連携を図ることを模索していく必要がある。				子ども体験事業は好評なので、毎年度、有効性・効率性も考えながら実施していく必要がある。居場所事業のリースペースは、地域の小中学生の安らげる場所となっており、引き続き周知を図っていく必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		6				3				8				7		
	<コメント> さらに地域、他機関・他団体との連携を模索し、地域づくりの一助となる事業となるように努めていきたい。				<コメント> 学・社・民の融合は、教育委員会・公民館で重視している事業である。さらに地域の力を引き出しながら事業を進めていきたい。				<コメント> 鳥屋野地区は子育て中の親が多く需要も高いため、今後とも実施していく必要があるが、予算の多くを投入している事業であり、常に効率的・効果的な実施手法かを検証していく必要がある。。また、学校で保護者が集まる場を利用して思春期講座を実施したことは有効であった。				<コメント> いずれも必要な事業なので、次年度も継続していく。居場所づくりのリースペースは、地域の小中高生生の放課後過ごせる場として有効であり、継続していく必要がある。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3事業 生きがいがづくり3				3事業 人権講座1、環境講座1、その他1			
ねらい	高齢者の健康寿命の延伸や生きがいがづくりを支援する。また、事業を通して仲間づくりを図り、地域活動につなげる。				環境や人権意識など現代的課題についての学習機会を提供し、市民の意識啓発及び社会参加を促す。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	2	0	満足度は高かったが、サークル化には至らなかった。	サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数		2人	全て環境講座での希望者
	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	各事業とも高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	各事業とも高い満足度を得られた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	77%	2つの講座は、目標値以上だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	75%	2つの講座は、目標値以上だった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.0	高齢者の健康・生きがいがづくりは市の重点施策のため、必要度は高い。		必要性(平均値)	3.7	現代的課題をとらえ、学習機会を考えて、新たな受講者層を若干発掘できた。	
	有効性(平均値)	3.0	内容を盛り込みすぎたものやニーズに合致しないものがあった。		有効性(平均値)	3.7	企画委員と協議し、内容を検討できた。また、韓国領事館職員が講師となる講座を開催し、充実した内容とした。	
効率性(平均値)	4.0	老人クラブ協議会と役割分担を協議し、効率性を図った。		効率性(平均値)	4.0	市の制度などを利用し、効率的に実施できた。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の健康づくりや生きがいがづくりは、市の重点施策となっており、今後も、他団体などと連携しながら、有効性・効率性を考えながら実施する必要がある。				鳥屋野潟を中心とした自然や環境の講座は、地域の歴史や現在進捗中の計画なども加えた講座となっている。新年度は、自然・環境を中心とするのか、地域を学ぶことを中心とするのか考えながら企画していく必要がある。また、オリンピックという話題性のある講座を実施し、新たな受講者層を発掘できた。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		3			1	2		
	<コメント> 公民館事業に目を向ける高齢者のニーズに合う事業を、さまざまな情報をとらえながら企画していく必要がある。				<コメント> 地区館として、地域情報を発信するとともに、現代的課題をとらえながら、事業を企画していく必要がある。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業実施報告

鳥屋野地区公民館

居場所事業

重点化	No.	新規	事業 評価	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	連 携				備考				
								回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)		学校	地域教育コ ーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	活動協力 員(人)
1. 地域のコミュニティ活動	1		B	避難所体験事業	地域と連携し地域全体で子どもたちの防災対応能力の育成を行う。	1	少年	1	午前・午後・夜間	22	22				5	
	2		B	ユースセミナー	地域における次世代を担う若手の育成。若い人に地域に目を向けてもらう。	1	青年	3	夜間	8	13					
	3		B	地域コミュニティ活動活性化支援事業「地域包括ケアシステム学習会」	コミュニティ協議会と連携し、地域課題解決のために必要な勉強会を行う。	1	総合	1	午後	78	78			○		女池校区コミ協と共催
	4		B	子育てサロン ふらっと	親子の居場所づくり	1	総合	12	午前	305	305			○		女池民協 協力
	5	◎	B	子育てサロン まんまる	親子の居場所づくり(0歳児)	1	総合	10	午前	192	192					
	6		B	子育てサロンスタッフ研修	子育てサロンスタッフ対象の研修会。	1	成人	1	午前	15	15					
2. 学・社・民の融合	7		B	上所夏まつり	上所夏まつりに出前で参加することで、学・社・民で協力しながら健全育成を図る。	1	総合	1	午後	320	320	○	○		4	上所小学校と共催
	8		B	公民館出前講座	手づくり肉まんづくり	1	総合	1	午前	24	24	○	○			上山小学校と連携
	9		B		飾り巻きずしづくり	1	総合	1	午前	26	26	○	○			上山中学校と連携
3. 家庭の教育力向上	10		B	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)2期	乳児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	6	午前	26	132					
	11		B	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)4期	乳児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	6	午前	24	130					
	12		B	幼児期家庭教育学級「育ちあい学級」	幼児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	5	午前	28	116					
	13	◎	B	幼児期家庭教育学級休日版	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	1	午前	11	11					
	14		B	児童期(思春期)家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える	1	成人	3	午前・午後	42	41	○				一部鳥屋野中学校と共催
4. 青少年の生きる力	15		B	子ども体験事業	セミの羽化観察会 in 県庁の森	1	総合	1	夜間	50	50				1	
	16		B		ドーナツメジャーづくり	1	少年	1	午前	35	35				2	
	17		B		マイナス196℃の世界を体験	1	少年	1	午後	36	36				2	
	18		B		創作ダンス	1	少年	1	午後	23	23					
	19		B		めざせ！けん玉王	1	少年	1	午後	26	26				4	
	20		B	子どもの居場所づくり 中高生フリースペース「とやの～び」	「談話コーナー・バンド練習」の場の提供。	1	少年	185	午後	226	226					上所民協協力
	21		B	学習室開放事業	学習意欲のある中高生に学習室を提供。	1	少年	265	午前・午後	59	270					
5. 高齢者の学習・社会参加	22		B	とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいをテーマに学習機会を提供。	1	高齢者	6	午後	316	316			○		老人クラブ鳥屋野地区協議会と共催
	23		B	いきいきセミナー 「色とり豊かなセカンドライフ」	シニア世代がいきいきと過ごしていくためのきっかけづくり	1	高齢者	4	午前	7	27					中央区健康福祉課と共催
	24		B	活動協力員企画事業「輝け!!セカンドライフ」	シニア世代がいきいきと過ごしていくためのきっかけづくり	1	高齢者	5	午前・午後	24	81					8
6. 現代的課題	25		B	「自然と環境」講座	地域の自然と環境について学ぶ。	1	成人	5	午前・午後	28	117					1
	26		B	人権講座	人権について学ぶ機会を設ける。(保育あり)	1	成人	2	午前	31	40					
	27	◎	A	平昌冬季五輪直前「もっと韓国を知りたい」	冬季五輪開催に際し、海外について学ぶ。	1	成人	1	午後	9	9					
7. その他	28		D	成人大学講座「越佐の人物風土記」	越佐の先人たちの生き様から学ぶ。	1	成人	6	午前・午後	57	210					1
	29		B	文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場、お茶席ほか	1	総合	1	午前・午後・夜間	1,656	1,656					利用団体協議会と共催
	30		B	自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援。	1	総合	8		100	100					
居場所を除く合計						26		73		3,022	3,654					
居場所合計						4		472		782	993					

平成30年度事業計画

鳥屋野地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		避難所体験事業	地域と連携し地域全体で子どもたちの防災対応能力の育成を行う。	1	少年	1	
	2		ユースセミナー	地域における次世代を担う若手の育成。若い人に地域に目を向けてもらう。	1	青年	2	
	3		地域コミュニティ活動活性化支援事業	コミュニティ協議会と連携し、地域課題解決のために必要な研修を行う。	1	成人	1	
	4		子育てサロン	親子の居場所づくり	1	総合	12	女池民協 協力
	5		子育てサロン(0歳児向)	親子(0歳児)の居場所づくり	1	総合	10	
	6		子育てサロンスタッフ研修	子育てサロンスタッフ対象の研修会。	1	総合	1	
2. 学・社・民の融合	7		上所夏まつり	上所夏まつりに出前で参加することで、学・社・民で協力しながら健全育成を図る。	1	総合	1	上所小学校と共催
	8		公民館出前講座	出前講座を実施することにより、学校を身近に感じるきっかけとする(調理実習など)	1	成人	1	
3. 家庭の教育力向上	9		乳児期家庭教育学級 1期	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	5	
	10		乳児期家庭教育学級 4期	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	5	
	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	5	
	12		児童期家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	2	
	13		保育者交流会	保育者との情報交換	1	成人	1	
4. 青少年の生きる力	14		子ども体験事業	ものづくり・野外体験	5	少年	5	
	15		子どもの居場所づくり・中高生フリースペース	とやの～び「談話コーナー」の場の提供。	1	少年	50	
	16		学習室開放事業	学習意欲のある中高生に自習室を提供。	1	少年	264	
5. 高齢者の学習・社会参加	17		とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいをテーマに学習機会を提供。	1	高齢者	4	老人クラブ鳥屋野地区協議会と共催
	18		いきいきセミナー	シニア世代がいつまでもいきいきと生きていくためのきっかけ作り。	1	高齢者	4	中央区健康福祉課と共催
	19	◎	サークル育成事業	サークル活動につながるきっかけづくり	2	成人	7	
6. 現代的課題	20	◎	とやの地域学	鳥屋野地域の歴史から現在の生活に至るまでの様々な鳥屋野を学ぶ。	1	成人	4	
	21		人権講座	人権について学ぶ機会を設ける。(保育あり)	1	成人	2	
	22	◎	東京オリンピック・パラリンピック機運醸成	東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えるにあたり、海外について学ぶ。	5	成人	5	
	23	◎	転勤・転入者向け講座	転勤・転入者に新潟市をさらに知ってもらうとともに、横のつながりをちつくるきっかけとする。	1	総合	3	
7. その他	24		文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場、お茶席ほか	1	総合	1	利用団体連絡協議会と共催
	25		自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援。	1	総合	8	
居場所を除く合計					29		67	
居場所合計					5		337	

平成29年度事業評価シート(東地区公民館)

総事業数(29) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(7) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(6) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	5事業 江東コミュニティ研修会、お寺でゴーン、子育て支援リーダー育成、高齢者を支え合う地域づくり、地域学振興				7事業 家庭教育学習会4、子育て広場「けやきのもり」、子ども環境教育推進、中高年パソコン教室				4事業 乳児期家庭教育学級、幼児期家庭教育学級、子育てサロン、保育者交流会				6事業 青少年の居場所づくり事業3、キッズ探検隊、キッズサイエンス、わくわくキッズ							
ねらい	1. コミュニティ協議会と共催し、集団での体験活動とおし基本的な生活習慣・社会性を身につける 2. 子育て支援及び高齢者支援活動の強化と支援者の育成を行う 3. 地域の歴史や文化など地域の魅力の発見から地域づくりの活動につなげ、地域の活性化を図る				1. 学校・PTA・公民館の連携強化により、地域全体の教育力向上につなげる 2. 学校、家庭、地域と公民館の連携により相互の果たす役割と協働のあり方を学ぶ				1. 子育ての育児不安の軽減と仲間づくりを進める 2. 子育て支援ボランティアの育成を図る				1. 普段ではできない体験活動を行い、知的好奇心を育み、創造力豊かな子どもを育てる 2. 子ども同士の交流、子どもと大人(指導者・学生)の交流の場とし、相互理解を図る 3. 子どもが自ら遊び方を工夫することで、考える力を養う							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	1	1	継続して子育ての情報交換や仲間づくりをしている。	サークル結成数							
	企画委員希望者数		3	活動協力員との企画会議を実施	企画委員希望者数		2	活動協力員との企画会議を実施。	企画委員希望者数		15	ゆりかご卒業生や子育て支援ボランティア等との企画会議を実施。	企画委員希望者数		13	活動協力員、地域ボランティアとの企画会議を実施。				
	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	寺ゴンでは100%の満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	子育てでの気付きや不安・悩みの解消につながった。	受講者の満足度(平均値)	80%	84%	話し合い、悩みを共有し合うことにより高い満足度を得た。	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	子ども同士または大人のスタッフや学生との交流を深めた。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	89%	地域への理解を深め、魅力の再発見を促した。	受講者の気づき(平均値)	80%	83%	子どもと向き合う姿勢や親の学びの大切さについての気づきがあった。	受講者の気づき(平均値)	80%	73%	子どもと向き合う姿勢や親の学びの大切さについての気づきがあった。	受講者の気づき(平均値)	80%	79%	体験学習や実験により、子どもたちの興味を深めることができた。				
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4.0	地域への理解を深め、地域課題を考える事業として必要。			必要性(平均値)	4.0	地域の子どもの育ちを社会で支援する事業として必要。			必要性(平均値)	3.8	育児不安の軽減、仲間づくりのために必要である。			必要性(平均値)	4.0	子どもたちに学びへの興味を喚起することに寄与している。		
	有効性(平均値)	3.8	地域住民や関係団体との連携により有効な事業展開が出来た。			有効性(平均値)	3.9	学校やPTA、コーディネーター、コミ協や民児協などと連携して事業を運営			有効性(平均値)	3.5	企画委員と相談しながら各回の運営方法や講師選定の工夫をした。			有効性(平均値)	3.3	地域住民や専門学校・大学生などとの連携が図られた。		
効率性(平均値)	3.8	ボランティアを活用し経費負担を抑え事業を効率的に運営できた。			効率性(平均値)	3.9	PTA学年行事やふれあいスクールの中で行うなど運営に工夫をした。			効率性(平均値)	3.8	限られた経費で適切な講師選定が出来た。			効率性(平均値)	4.0	講師・スタッフ・ボランティアの協力により効果的に運営できた。			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	「高齢者を支える地域づくり支援事業」はテーマが高齢者であったが、周辺地域は新潟駅に近く通勤族や単身世帯も多いため、高齢者に限定せず各世代の問題を広く考え、地域づくりに生かすための事業として再構築する。また、「子育て支援コミュニティリーダー育成事業」はサロンのマニュアルが完成したため、今後はサロンの維持と体制強化に力を入れていきたい。				児童期は各学校により運営方法が違うため、学校やPTAの事情に合わせた企画となるよう注意が必要。子育て広場「けやきのもり」は、本事業参加者が同じほっとハウス窓口にて新たな居場所を立ち上げたことにより、そこの事業内容の違いを明確に打ち出す必要が生じたため、来年度は事業の見直しを図る。				子育てサロン運営のためのマニュアル作りが終了したが、サポーターの新規獲得が課題。ゆりかごは受講者の事情やニーズが多様化しており、できる限りそれを反映したプログラム作りが必要。幼児期は講師との打ち合わせが遅れがちであったため、次年度は余裕を持った準備と打ち合わせを心掛けたい。				キッズサイエンスは調理実習ものと工作もののプログラムに分かれるが、テーマがマンネリ化しないよう留意することが必要。キッズ探検隊は趣旨に沿った「探検先」を企画会議の中で決めることができ、参加者の満足度も高かったが、近年は施設設定が困難になっている。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		3		2		7					4				5		1			
	<コメント> 地域住民や関係団体と連携し、今後も地域に密着した事業を展開したい。「子育て支援…」と「高齢者…」は、中央区社協やコミ協との連携のもと、広く地域課題を考える講座として再構築したい。				<コメント> パソコン教室は中学生が大人を教えるという貴重な体験ができる事業として、中学校の先生からも高い評価をいただいている。児童期は出前型事業として各小学校に定着しており、今後も学校やコーディネーターと連携して様々なプログラムを提供したい。				<コメント> ゆりかごは、受講者のニーズや事情が多様化している中、受講者の満足度も高く、公民館事業の柱として今後も事業を展開していく。また、保育者やサロンサポーターは公民館事業を支える大切なスタッフであり、獲得と育成が必須。				<コメント> キッズ探検隊は、普段見られない施設の裏側を見学する事業だが、近年は見学先の施設の選定が困難となっていることから、わくわくキッズと統合して、子どもの様々な体験活動を目的とする事業に再編する。今後も子どものニーズを把握しプログラムを組ん							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業 セカンドライフセミナー、団塊世代対象事業		1事業 人権講座					
ねらい	1. 高齢者の学習意欲を喚起し、社会参加や今後の生き方を考える。 2. 団塊世代の社会参加に焦点を当て、対象者が身につけてきた知識や経験に働きかけ、知的欲求を満たす講座を展開し、社会参加へとつながるきっかけとする。				1. 現代的な諸問題について学ぶ 2. 関連団体と協力・連携を図り講座を運営する。 3. 自発的な学習継続に向けて、企画委員の募集や自主グループ作りの支援を行う			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数		10	活動協力員、地域ボランティア等との会議を実施	企画委員希望者数		2	活動協力員との企画会議を実施。
	受講者の満足度(平均値)	80%	88%	興味深いテーマを講師が分かりやすく解説し高い満足度を得た。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	人権への関心や理解を深めることができた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	74%	高齢者に関わる課題を考え、どう対応していくか考えることが出来た。	受講者の気づき(平均値)	80%		障がいのある人に対してどう接していくかを改めて考えさせられた。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の知的好奇心を満足させ、仲間づくりを図るため必要。		必要性(平均値)	4.0	人権について市民に広くわかりやすく伝える機会として必要。	
	有効性(平均値)	3.5	カフェ形式で交流を楽しむスタイルだったが、テーマが難解だった。		有効性(平均値)	4.0	内容は難しかったが、達成度は満足できる。	
	効率性(平均値)	4.0	講座の質の高さの維持と、予算不足の解消の調整が課題。		効率性(平均値)	4.0	市担当課と連携を図って円滑な事業運営が出来た。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	サイエンスカフェは、今年度特にテーマが難解であったため、高齢者の交流を促進できるプログラム設定が必要。セカンドライフは、トータルで講座趣旨に沿ったプログラム構成となっているか、企画委員と綿密に打ち合わせをした上で、講師選定をし、事業運営をすることが必要。				人権という難しく特別なことと思いがちである。また、身近に障がい者がいたり、福祉に興味があったり、ボランティア活動をしている等、支援する側にいる人には届くが、そうでない人には、届きにくいテーマである。しかし、誰にとっても、社会的にも重要な問題であり、今後も形式や切り口を変えても取り組んでいきたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2						1
	<コメント> いずれも高齢者に関心の高いテーマを取り上げ、地域との関わりや社会参加を促す内容となっている。公民館を利用してもらう良い機会となっており、今後も魅力的なテーマと講師の選定を心がけたい。				<コメント> 集客には苦戦したが、市だからこそやるべき講座でもある。一方、民間企業の取り組みについてお話を伺うと、市で行うことの限界も感じる。双方の良いところを生かし、長く啓発活動を行うべきと感じた。次年度は他館開催のため休止の予定だが、機会を探			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業実施報告

東地区公民館

重点化	No.	新規	評価	事業名	事業の目的・趣旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数	延べ参加者数	連 携 先				備考		
												学校	地区民協 コーディ ネーター	コミ協・自治 会・老人会	活動協力員 (人)			
1. 地域のコミュニティ活動	1		B	江東コミュニティ研修会	コミュニティ協議会と連携し、地域課題の解決法を探るための先進地視察や研修(東出張所と共催)	1	成人	2	午前・午後	30	60							
	2		B	お寺でゴーオン	地域全体で取り組む子どもの健全育成 企画会議	1	少年	1	午前・午後・夜間	20	20			江東地区 沼垂小学 校区コミ協	1			
	3		D	子育て支援コミュニティリーダー育成	地域の子育て支援リーダーの育成とスキルアップ研修	1	成人	3	午後	10	21			万代長嶺 地区民協			ボランティアスタッフ・絵本を楽しむ会	
	4		D	高齢者を支え合う地域づくり支援事業	高齢者の居場所づくり啓発と情報交換	1	成人	1	午後	46	46			江東地区 民協			中央区社会福祉協議会と連携	
	5		B	地域学振興事業	地域の歴史等とおし地域課題を学び、地域づくりへ 掛軸の取り扱い方や鑑賞のポイント等を学び、地域の文化的資料への意識を高める。	1	成人	1	午後	77	77							2
2. 学・社・民の融合	6		B	家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (沼垂小学校)	1	成人	1	午後	63	63	沼垂小学 校	沼垂小学 校				保育実施	
	7		B		家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (笹口小学校)	1	総合	1	午後	150	150	笹口小学 校	笹口小学 校					保育実施(※利用者なし) 参加者150人中、保護者59人
	8		B		家庭教育小学校出前型(ふれあいスクールと共催) (万代長嶺小学校)	1	総合	1	午前	26	26	万代長嶺 小学校	万代長嶺 小学校					1
	9		B		児童期家庭教育学習会	1	成人	1	午後	10	10							保育実施
	10		B	子育て広場「けやきのもり」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	9	午前	28	158			笹口地区 民協	1		ボランティアスタッフ・笹口民協・中央区健康福祉課・東地域HCと連携	
	11		B	子ども環境教育推進事業	学校、地域と連携した環境学習	1	少年	1	午後	59	59	万代長嶺 小学校	万代長嶺 小学校					
	12		B	中高年パソコン体験教室	初めてのパソコンを楽しみながら学ぶ	1	成人	1	午前	8	8	宮浦 中学校	宮浦 中学校					
	3. 家庭の教育力向上	13		B	乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	7	午前	20	112						保育実施 東地域HC、中央図書館と連携
		14		B	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える 企画会議	1	成人	4	午前	15	44						保育実施
		15		B	子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	43	午前	493	493			万代長嶺 地区民協	1		
16			B	保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	5	5							
4. 青少年の生きる力	17		D	キッズ探検隊	体験活動とおした異年齢交流と仲間づくり	1	総合	1	午前	40	40						3	
			D		企画会議	1	成人	3	午前・午後	3	10							
	18		B	キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起	5	少年	5	午前・午後	81	81						3	
			B		企画会議	5	成人	9	午前・午後	3	22							
	19		B	わくわくキッズ	自然体験等とおして自ら考える力を養う	1	少年	1	午前・午後	16	16						3	
	20		B	青少年の居場所づくり事業 夏休みイベント	フリースペースを活用して地域の子どもと大人の交流を図る。	1	総合	1	午前・午後	74	74						2	
				青少年の居場所づくり事業 冬休みイベント	地域の子どもと大人の交流機会	1	総合	1	午前	20	20							
				青少年の居場所づくり事業 春休みイベント	地域の子どもと大人の交流機会	1	総合	1	午後	18	18							
21		B	青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	347	午前・午後	1,649	1,649						2		
22		B	青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	344	午前・午後	29	29						2		
5. 高齢者の学習・社会参加	23		B	セカンドライフセミナー	高齢者の社会参加の機会により、課題解決に向けての意識付けや再認識の共有化を図る	1	高齢者	5	午前	34	153						2	
			B		企画会議	1	成人	1	午前	2	2							
	24		B	団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る 企画会議	1	成人	4	午後	70	159						民間団体と連携 (サイエンスカフェにいがた)	
6. 現代的課題	25		D	人権講座	人権について学ぶ	1	成人	2	午前	21	37						2	
			D		企画会議	1	成人	2	午後	2	4						2	
7. その他	26		B	文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る (利用団体連絡協議会と共催)	1	総合	1	午前・午後	921	921						1	
	27		B	グループ活性化事業 公民館まつり	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	40	午前・午後・夜間	435	435						利用団体連絡協議会と連携	
	28		B	自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	1	午後	9	9						仏像彫刻会と共催	
居場所を除く合計						47		139		2,375	2,979							
居場所合計						3		734		2,171	2,171							

平成30年度事業計画

東地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		江東コミュニティ研修会	コミュニティ協議会と連携し、地域課題の解決法を探るための先進地視察や研修(東出張所と共催)	1	成人	2	江東地区コミュニティ連絡協議会と連携
	2		お寺でゴーン	地域全体で取り組む子どもの健全育成 企画会議	1 1	少年 成人	1 4	沼垂小学校区コミ協と連携
	3		地域学振興事業	地域の歴史等をおし地域課題を学び、地域づくりへ	1	成人	1	
2. 学・社・民の融合	4		家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (沼垂小学校)	1	成人	1	保育実施
	企画会議			1	成人	2		
	5		家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (笹口小学校)	1	成人	1	保育実施
	企画会議			1	成人	2		
	6		家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (万代長嶺小学校)	1	成人	1	保育実施
	企画会議			1	成人	2		
7		子育て広場「けやきのもり」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	6	笹口地区民児協、ボランティアスタッフと連携	
8		子ども環境教育推進事業	学校、地域と連携した環境学習	1	少年	1		
9		中高年パソコン体験教室	初めてのパソコンを楽しみながら学ぶ	1	成人	1		
3. 家庭の教育力向上	10		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	7	保育実施 東地域保健センター、中央図書館と連携
	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える 企画会議	1 1	成人 成人	4 4	保育実施 中央図書館と連携
	12	◎	幼児期家庭教育学級 土曜日版	ふれあい遊びを通じて、親と子の関わり方について学ぶ	1	総合	4	
	13		子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	40	ボランティアスタッフ、絵本を楽しむ会、万代長嶺地区民児協、東地域保健福祉センターと連携
	14		保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	
4. 青少年の生きる力	15		キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起 企画会議	5 5	少年 成人	5 5	
	16		わくわくキッズ	体験活動を通して自ら考える力を養うとともに、異年齢交流や仲間づくりを図る。 企画会議	1 1	少年 成人	1 2	
	17		青少年の居場所づくり事業 夏休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらうきっかけをつくる 企画会議	1 1	総合 成人	1 3	
			青少年の居場所づくり事業 冬休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらうきっかけをつくる	1	総合	1	
	18		青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	348	
	19		青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	345	
5. 高齢者の学習・社会参加	20		セカンドライフセミナー	高齢者の社会参加の機会により、課題解決に向けての意識付けや再認識の共有化を図る	1	高齢者	5	
				企画会議	1	成人	5	
	21		団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る 企画会議	1 1	成人 成人	4 3	民間団体と連携
6. 現代的課題	22	◎	地域活性化支援事業	現代社会の抱える問題について考え、地域活性化に生かすための知識を習得する	1	成人	1	
				企画会議	1	成人	2	
7. その他	23		文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る (利用団体連絡協議会と共催)	1	総合	1	利用団体連絡協議会と共催
	24		グループ活性化事業 公民館まつり	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	20	
	25		自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	2	
居場所を除く合計					42		106	
居場所合計					3		733	

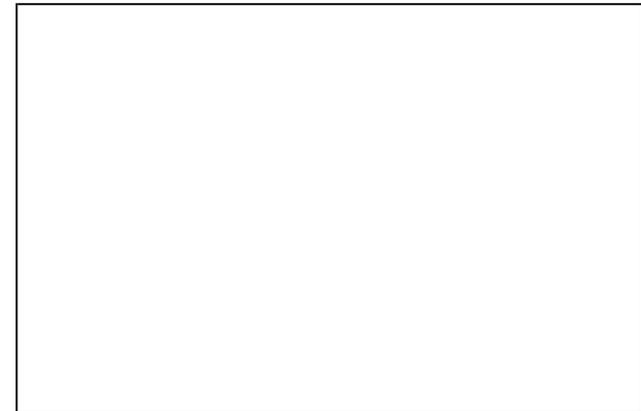
平成29年度事業評価シート(関屋地区公民館)

総事業数(27) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(8) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(3) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	4事業		地域振興2・児童健全育成1・子育て1		2事業		児童健全育成1・世代間交流1		3事業		家庭教育学級2・居場所1		7事業		体験活動5・居場所2					
ねらい	地域住民に、地域の歴史、文化、課題などの学習機会を提供することで郷土愛を育て、地域課題に取り組む人材や団体を育成支援する。また地域住民の交流を図り、青少年の健全育成と子育て支援に取り組む。				学校、公民館利用団体などと連携、協力して、それぞれの役割の中でできることを分担して事業を行うことで、地域住民の交流促進と住み心地のよい地域づくりに貢献する。				家庭教育の自主性を尊重しながら、学習の機会、情報、交流の場を提供することで、家庭教育を支援する。				青少年の体験活動や、異年齢交流などにより、青少年や子どもの健全育成を図る。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—					
	企画委員希望者数		11	「おも知る関屋学」を企画委員の協力のもと運営	企画委員希望者数		0	活動協力員の参加を募りたい。	企画委員希望者数		0	企画委員の積極的募集と活用に努めたい。	企画委員希望者数		1	企画委員の積極的募集と活用に努めたい。				
	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	「おも知る関屋学」「お寺でゴーン」でアンケート実施	受講者の満足度(平均値)	80%	—	単発での体験講座のためアンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	多くの受講者から満足いただいた。	受講者の満足度(平均値)	80%	88%	アンケート実施事業の多くの受講者から満足の回答を得た。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	88%	地域学講座から育った企画委員が講師を務める講座を設けた。	受講者の気づき(平均値)	80%	—	単発での体験講座のためアンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	91%	自主サークルの結成につながった。	受講者の気づき(平均値)	80%	73%	体験講座では参加者の多くが家庭や学校では知り得ない新たな気づきを経験				
その他成果(品)及びその活用等			企画委員を講師として派遣 地元小中学校から地域学講座から育った企画委員の講師派遣依頼があった。	その他成果(品)及びその活用等			公民館利用団体を講師として国語の授業に派遣 学校と公民館が連携し、参加者、利用団体双方にとって共に学ぶことのできる貴重な機会にできた。	その他成果(品)及びその活用等			講座内容の変更 参加者の半数が育児休業中であり、復職への不安を抱えていたため不安を取り除くような内容変更を検討したい。	その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	地域の実情を知り、地域の活性化に必要な事業となっている。			必要性(平均値)	4	学校と公民館の連携を強化する面からも必要な事業である。			必要性(平均値)	3.6	子育て中の親子にとって必要な事業となっている。			必要性(平均値)	3.9	家庭や学校では経験できない講座内容のため必要性は高い。		
	有効性(平均値)	4	地域との連携により、相互理解が深まり、人材の育成にもつながった。			有効性(平均値)	4	学校、地域教育コーディネーター、公民館利用団体と連携が図れた。			有効性(平均値)	3.3	幼児期において新たなサークル結成につなげることができた。			有効性(平均値)	3.8	様々な体験活動や他校児童・大人との交流による子どもの健全育成の場として有効性が高い。		
	効率性(平均値)	4	活動協力員との連携により効率的かつ最小の経費で実施できた。			効率性(平均値)	4	学校との調整をコーディネーターに依頼したことにより効率よく進められた。			効率性(平均値)	4	調理実習に係る実費を受講者から徴収するなど事業費の削減に努めた。			効率性(平均値)	4	ボランティア講師をできるだけ活用し、事業費削減に努めた。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	講座内容は好評なのでこれをベースに継続し、より多くの方から参加していただけるよう、様々な媒体を活用した広報活動に取り組みたい。				学校との共催であるため、予定がなかなか立てられなかったり、制約も多いが、継続することで信頼関係の構築を図りたい。				講座終了後も、参加者が安心して子育てできるように、他機関との連携を強化しながら、自主サークルを支援していきたい。 子育てサロンについては他機関でも行われていることから、互いの役割分担について検討していきたい。				体験活動については、大学や利用団体との連携が重要であることから、今年度の反省点を踏まえながら十分な事前打合せを行い、より良い事業を展開していきたい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		4				2				3				7						
評価区分	<コメント> 地域の絆、愛着を深めることに一定の成果をあげている。一部事業は参加募集対象地域を拡大してより多くの方から参加していただけるように改善し、継続して取り組みたい。				<コメント> 小学校、中学校、公民館利用団体と協力して事業が行われており評価できる。今後も継続することで参加者にとってより良い事業としていきたい。チャレンジゼミの他校拡大に努めたい。				<コメント> 現代社会において、家庭教育支援の必要性は非常に高く、地域からの要望も強いことから、有効性、効率性に留意しながら継続したい。				<コメント> 様々な体験をととして、他校、他学年と交流する場になっている。地域の子どもの健全育成を図るうえで必要な事業であるが、運営スタッフの確保が次第に困難になってきている。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業		高齢者事業2		3事業		世代間交流1・教養講座2	
ねらい	高齢者の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。				企画委員、地域住民とともに現代的課題を考え、そのテーマに沿った講演会、学習会を開催することにより現代的課題の解決を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—	
	企画委員希望者数	/	0	企画委員の積極的募集と活用に努めたい。	企画委員希望者数	/	10	「閑屋モーニングサロン」は企画委員により運営・開催している。
	受講者の満足度(平均値)	80%	91%	受講者からは概ね満足していただいた。	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	「閑屋モーニングサロン」アンケート回答者の数値
	受講者の気づき(平均値)	80%	89%	健康で幸せなシニアライフのための気づきの場として高く評価されている。	受講者の気づき(平均値)	80%	—	
その他成果(品)及びその活用等	/	高齢者のネットワークづくり	高齢者の生きがいづくりだけでなく仲間づくりの場にもなっている。	その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	定員を上回る応募があり、地域住民にとって必要な事業である。		必要性(平均値)	4	常に定員を上回る応募があり、地域住民にとって必要な事業である。	
	有効性(平均値)	4	他機関、活動協力員と連携が図れていて適切である。		有効性(平均値)	4	他機関、活動協力員と連携が図れていて適切である。	
効率性(平均値)	4	無償講師の活用や参加費の徴収など事業費の効率化に取り組んだ。		効率性(平均値)	4	大学との共催や無償講師をできるだけ選定するなどして事業費の効率化に取り組んだ。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	受講生の気づきは向上しており、一定の評価をいただけたと思う。実習などを交えながら、今後も地域の高齢者が幸せなシニアライフを送るために必要な情報を提供していきたい。				講義形式の講座が多いが、実習をまじえるなど受講者の交流を図る工夫をすることで、サークルの結成、企画委員の養成につなげていきたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				3		
	<コメント> 毎年、高齢者のより良い暮らしに有用で興味あるテーマを選び、講座を提供することはなかなか難しいが、健康で幸せな高齢社会とするため不可欠な講座であることから、今後も継続して一層魅力的な講座を目指したい。				<コメント> 他機関、活動協力員、企画委員と連携して事業運営し、広く様々な市民の意見を講座内容に反映させることができた。「閑屋モーニングサロン」では企画委員の高齢化の解消が課題であり、「大学講座」では広報について工夫が、「囲碁」では、出席者のインセンティブの維持が課題である。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央区運営審議会委員意見



●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業報告

居場所事業

関屋地区公民館

重点化	No.	評価	事業名	事業の目的・趣旨 【新】・・・新規事業	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)	連 携				備考
											学校	地域教育コ ーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	活動協力 員(人)	
1. 地域のコミュニティ活動	1	B	おも知る関屋学	住民自らの地域研究をとおして地域の歴史を学ぶ	1	成人	8	午後	40	240				3	
				企画会議	1	成人	7	午後	11	56					
	2	B	森のコンサート	地域の中で音楽をとおして交流する	1	総合	1	午前	130	130	関屋中	関屋中コー ディネーター	関小コミ協 老人クラブ連合会	2	念仏寺
	3	B	お寺でゴ〜ン!	学校や地域と連携し、社会全体で子どもの望ましい基本的生活習慣の育成や家庭教育への意識啓発を図る	1	少年	1	午後	15	15			浜浦小コミュ ニティ協議会	1	念仏寺
4	B	あかちゃんお誕生おめでとう	地域と一体となり安心して子育てできる環境をつくる	1	総合	2	午前	56	56			浜浦小コミュ ニティ協議会		浜浦民児協・地区社 協と連携	
2. 学・社・民の融合	5	B	チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	午前	35	35	有明台小	有明台小コー ディネーター			利用団体と連携
	6	B	世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	午後	31	31	関屋中	関屋中コー ディネーター			利用団体と連携
3. 家庭の教育力の向上	7	B	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	4	午前	11	42				1	保育実施
	8	B	乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	午前	21	92				1	保育実施
	9	B	子育てネットまつぼっくり	子育て交流や情報交換を行う	1	総合	48	午前	554	554					
4. 青少年の生きる力	10	B	わくわくランド	小学生が体験活動をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	10	午前・午 後・夜間	33	264	新潟青陵大 学・新潟大学				利用団体と連携
				企画会議	1	成人	2	午後	3	9					
	11	B	将棋クラブ	小学生が将棋をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	19	午前	30	209					利用団体と連携
	12	B	文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味などを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	午前	15	30	新潟大学				
	13	B	体験教室	簡単な工作を体験し、ものづくりの楽しさを味わう	3	少年	3	午前	79	79	新潟大学				水道局と連携
	14	B	子ども映画会	長期休みに映画を楽しんでもらう	1	少年	1	午前	57	57					
	15	B	公民館に泊まって! あそぼうさい	災害に関する知識を学び、防災意識を育む。	1	少年	1	午前・午 後・夜間	13	13			浜浦小コミュ ニティ協議 会		
16	B	座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	347	午前・午 後・夜間	4,858	4,858						
17	B	学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	100	午前・午 後・夜間	504	504						
5. 高齢者の学習・社会参加	18	B	さわやか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	午前	22	72	新潟薬科 大学			3	動物愛護センターと 連携
	19	B	ほがらか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	午前	35	132					健康福祉課と共催
6. 現代的課題	20	B	囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図る。	1	総合	19	午前	17	192				1	利用団体と連携
	21	B	関屋モーニングサロン	地域の人たちを事業の企画運営委員として育成する	1	成人	7	午前	120	770					
				企画会議	1	成人	15	午後	9	98					
22	B	大学健康公開講座	健康についての知識を身につける	2	成人	2	午前・午後	75	75	新潟医療福 祉大・日本 歯科大					
7. その他	23	B	初級登山教室	安全で楽しい登山普及のため、知識・技能を習得する	1	成人	6	午前・午後 ・夜間	21	104					利用団体と連携
				企画会議	1	成人	2	夜間	2	4					
	24	B	関屋おも知るまちあるき (公民館活動協力員との協働事業)	活動協力員との事業企画・実施	1	成人	1	午前	14	14				7	利用団体と連携
				企画会議	1	成人	5	午後	7	19					
	25	B	自主サークル育成事業	自主サークルの育成・支援	1	総合								事業見送り	
26	B	サークル体験事業	サークル体験を通じて新規利用者の開拓を図る	1	成人	11	午前・午後	1	1					利用団体と連携	
27	B	文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	1	総合	1	午前・午後	876	876					利用団体と連携	
居場所を除く合計					32		147		1,779	3,715					
居場所合計					3		495		5,916	5,916					

平成30年度事業計画

居場所事業

関屋地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		おも知る関屋学	住民自らの地域研究をとおして地域の歴史を学ぶ	1	成人	8	
				企画会議	1	成人	4	
	2		森のコンサート	地域の中で音楽をとおして交流する	1	総合	1	念仏寺
				学校や地域と連携し、社会全体で子どもの望ましい基本的な生活習慣の育成や家庭教育への意識啓発を図る	1	総合	1	念仏寺
4		あかちゃんお誕生おめでとう	地域と一体となり安心して子育てできる環境をつくる	1	成人	2	浜浦小コミ協・浜浦民児協と連携	
2. 学・社・民の融合	5		チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	利用団体と連携
	6		世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	利用団体と連携
3. 家庭の教育力の向上	7		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	保育実施
	8		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	3	保育実施
	9		子育てネットまつぼっくり	子育てで交流や情報交換を行う	1	総合	50	
4. 青少年の生きる力	10		わくわくランド	小学生が体験活動をおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	5	
	11		将棋クラブ	小学生が将棋をおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	19	
	12		文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味などを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	
	13		体験教室	簡単なお菓子作りや工作を体験し、ものづくりの楽しさを味わう	3	少年	3	
	14		子ども映画会	長期休みに映画を楽しんでもらう	1	少年	1	
	15		避難所宿泊体験	災害に関する知識を学び、防災意識を育む	1	少年	1	
	16		座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	343	
17		学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	60		
5. 高齢者の学習・社会参加	18		さわやか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	
	19		ほがらか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	
6. 現代的課題	20		囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図る	1	総合	19	
	21		関屋モーニングサロン	市民による講座の企画・運営と講座の開催	1	成人	7	
				企画会議	1	成人	15	
22		大学健康公開講座	健康についての知識を身につける	1	総合	2		
7. その他	23		初級登山教室	安全で楽しい登山普及のため、知識・技能を習得する	1	成人	6	利用団体と連携
				企画会議	1	成人	4	
	24		公民館活動協力員との協働事業	活動協力員との事業企画・実施	1	成人	1	
				企画会議	1	成人	5	
	25		自主サークル育成・支援事業	サークルの育成及び活動支援	1	総合	8	利用団体と連携
26		文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	1	総合	1	利用団体と連携	
居場所を除く合計					29		135	
居場所合計					3		453	